

# 野田・九条通信

2006年・7月号  
NO. 8  
「野田・九条の会」事務局  
TEL 7122-0502

## 「九条の会」全国交流集會に、野田からも五人が参加 憲法守れと各地に「会」が、五一七四組織に広がる

一昨年六月、「九条の会」が結成され、「平和を求め世界市民と手をつなぐために、あらためて憲法九条を激動する世界に輝かせたい」とアピールを発表しました。それから二年、アピールに賛同する地域・分野別の「会」が、五一七四に達しました。この代表が集まり、初の全国交流集會が先月十日に日本青年館で行なわれました。

呼びかけ人の一人、加藤周一氏は、「日本は最近、憲法九条を中心に分かれ道に差し加かっている。一方は戦争の道、もう一方は平和の道」「九条の会は上り坂だ。勢いある運動が勝つ。押して押していけば、改憲の動きに勝つ可能性がある」と挨拶をされました。

野田でも「九条の会」三番目が結成される。六月十六日、呼びかけ人をはじめ二十人が参加して「野田市職員・九条の会」が発足しました。

野田でも「九条の会」三番目が結成される。六月十六日、呼びかけ人をはじめ二十人が参加して「野田市職員・九条の会」が発足しました。

## お知らせ

◎これからの取り組み  
①、小森陽一氏の講演会  
「九条の会」事務局長を務める、小森氏の講演会を企画します。日程は未定ですが、憲法改訂を巡る状況と問題について講演を願う予定です。

②、八月の取り組み  
終戦記念日を中心に、パネル展と憲法講演会を企画します。

③、署名運動の促進  
「憲法改悪に反対し、第九条を守り、平和のために生かすことを求める署名」運動を本格的に取り組みます。「会」と賛同者を中心に、街頭での宣伝・署名、団体申し入れなど多様な運動を企画しますので、ご協力をお願いします。

◎映画「父と暮らせば」  
日時 8月20日14時から  
場所 文化会館大ホール  
料金 無料  
主催 子供核廃野田の会

◎「野田・九条通信」  
再刊に際してのお詫び  
事務局体制の弱さから「通信」を休刊したこと、お詫び申し上げます。

## 昔の亡霊が動きはじめた

一九四六年四月、私は戦後をはじめの一年生として小学校に入学した。焼け残った幼稚園が、教室だった。

戦争を放棄した新しい憲法と、「普遍的にして、しかも個性豊かな文化の創造をめざす教育」を標榜する教育基本法のもと、貧しいけれども、未来の明るい六年間だった。

その年の十一月三日、日本国憲法が公布された。冬のある日、以前そこを通る時はみんな緊張して頭を下げた、あの「奉安殿」が壊された。石工がノミを打つ高い音が青い空に響いていた。

一九五〇年、朝鮮戦争が始まり、五年サンフランシスコ講和条約、日米安保条約調印と、昔の亡霊が動きはじめた時はあったけれども。

さて、今また、自公民は、憲法と教育基本法を断ち切り、戦争をする国を担う子どもを作ろうと、平成の「教育勅語」を作ろうと目論む人を中心に、改訂の為の最終報告を今国会に上程しようとしています。

「九条の会」の小森陽一さんは、「この最終報告を上程するな！」と一人ひとりが、文部科学大臣、与党各党に、手書きの紙を送ろうと呼びかけています。

## 思想信条を乗り越え 新しい型の運動に発展

野田の「九条の会」からは、五人の代表者が交流集會に参加しました。参加者から、驚きを見た

野田の「九条の会」からは、五人の代表者が交流集會に参加しました。参加者から、驚きを見た

野田の「九条の会」からは、五人の代表者が交流集會に参加しました。参加者から、驚きを見た

野田の「九条の会」からは、五人の代表者が交流集會に参加しました。参加者から、驚きを見た